

# 宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	総大腿動脈の治療の現状と臨床成績に関する後ろ向き研究 2020-14
当院の研究責任者 (所属)	緒方 健二 (循環器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科 及び 心臓血管外科 (他全国 66 施設) 東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科 副部長 仲間達也
本研究の目的	末梢動脈疾患は、足の動脈の閉塞・狭窄による血流障害を起こす疾患です。歩行時の疼痛や足の壊疽が出現します。薬物治療で改善しない場合はカテーテル治療や手術が必要です。近年の道具や技術の進歩により、カテーテルで治療できる範囲は広がりました。しかし、足の付け根に当たる「総大腿動脈」については、1) 石灰化が強く、カテーテルで用いる風船では広がりにくい、2) 外側からの圧迫を受けやすい、屈曲しやすい環境にあるため、カテーテル治療で使用する「ステント」という金属の網との相性が悪いため、手術治療が第一選択です。しかし、実臨床においてはカテーテル治療が行われる場合もあり、欧米からは、カテーテル治療の効果を示す報告もあります。総大腿動脈における手術治療とカテーテル治療の成績をしっかりと評価し、今後の診療に生かすことはとても重要です。そこで、当院を含む全国の医療機関で、総大腿動脈に治療を受けた患者さんにご協力いただき、総大腿動脈の治療後の経過を把握する研究を行うこととしました。
調査データ 該当期間	研究実施許可後 ~ 2023 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	研究機関：宮崎市郡医師会病院 循環器内科 対象となる方：2018 年 1 月 1 日から 2020 年 6 月 31 日までに、当院で総大腿動脈の狭窄・閉塞病変に対する手術もしくはカテーテル治療を受けた患者を対象。 研究に利用する試料、情報等： 性別、年齢、身長、体重、ABI、下肢閉塞性動脈硬化症の状態、内服薬、既往歴など
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	当研究は東京ベイ・浦安市川医療センターを研究主機関とし、全国複数の医療機関で実施されます。当研究データは個人情報保護法を遵守し、匿名化など適切な方法をおこなった上で、国内および国外の他医療機関との共同研究にも使用され、その際には郵送あるいは電子的配信により情報共有を行います。また、当院循環器内科で実施される他の研究の結果と本研究データとを結合し、解析を行うことも想定されております。
個人情報の取り扱い	1) 本研究で取り扱う個人情報は、年齢、性別、診察所見、検査データ、治療経過などの診療情報のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。 2) 取り扱う診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからない形で使用します。 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。連結情報は当院内で管理し、他の共同研究機関等には一切公開しません。
お問い合わせ先	【問い合わせ先 (対応時間：平日 9:00~17:00) 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 緒方 健二 電話:0985-77-9101
備考	